

□■(株)技術情報センター ————— ■□

「いいテク・ニュース」
～ Ecology & Energy-Techno News ～

□■————— 2011. 8.25 Vol.104 ■□

夏の甲子園は日大三高の優勝で幕を閉じました。

今年は例年以上に終盤に大逆転とか接戦が多かったですね。

最後まで諦めない、少しでも長く甲子園で試合をしたいという
高校球児達の思いが接戦や大逆転を生んだのでしょうか。

しかし、準決勝、決勝では意外な程大差がつきました。

【準決勝】

光星学院(青森) 5 - 0 作新学院(栃木)

日大三(西東京) 14 - 4 関西(岡山)

【決勝】

日大三(西東京) 11 - 0 光星学院(青森)

ちなみに昨年の決勝も

興南(沖縄) 13 - 1 東海大相模(神奈川)

これは猛暑の中での連戦で投手をはじめとした選手の疲れが
大きく作用しているのでしょうか。

高校野球の応援が聞こえなくなれば、夏も終わりに近づきます。

甲子園 熱闘終わり 秋近し

竺兎

(株)技術情報センター「いいテク・ニュース」第104号をお届け
いたします。

今回は2011年9月開催8セミナーと新規取り扱い書籍情報をお
届け致します。

最後までお読みいただけるとありがたいです。

□■————— ■□
index

□■————— ■□

◇セミナー情報[2011年9月開催セミナー/8件]

◇おすすめセミナーPick Up

◇新規取り扱い書籍情報(14タイトル)

◇セミナー及び書籍・調査資料Webサイトアクセス数Top10

- ◇E-mail変更・不要について
- ◇あとかぎ

- ■ _____ ■ □
セミナー情報
[2011年9月開催セミナー/8件]
- ■ _____ ■ □

当社主催セミナーを、日付順でご案内致します。
詳細につきましては、各セミナータイトルの下にございます
URLにてご案内致しております。

■ 9月 6日(火)・7日(水)-----

～パナソニック電工解析センターでの実験実演・施設見学付き～
電子部品における故障物理と信頼性評価・寿命予測
－EXCEL演習付き(ソフト配布)－
<http://www.tic-co.com/seminar/20110901.html>

■ 9月27日(火)-----

－震災後の売電ビジネスの今後を読み解く－
電力自由化における電力売電ビジネスの現状と展望
～PPSから見た電力供給システムのあるべき姿と今後の
ビジネスの可能性～
<http://www.tic-co.com/seminar/20110906.html>

■ 9月28日(水)-----

ガasketの密封性能・選定とフランジ締結体の密封設計
～最近の非石綿ガasketに関する基礎知識から、ガasketの
密封特性、微小漏えいを抑制するために必要なボルト荷重の決定
方法など、フランジ締結体の密封性向上のために必要な最新情報
を織り交ぜて解説～
<http://www.tic-co.com/seminar/20110902.html>

沈降分離・浮上分離の促進技術と凝集操作
～沈降・浮上分離による固液分離操作の原理・試験・設計方法を
本格的に学んでいない方にも理解できるよう、平易に解説する～
<http://www.tic-co.com/seminar/20110903.html>

■ 9月29日(木)-----

活性汚泥処理装置の設計法
－基礎から二段活性汚泥処理、膜分離活性汚泥処理(MBR)、
栄養塩類(窒素・りん)除去処理における設計のポイントと
留意点までを平易に解説する－
<http://www.tic-co.com/seminar/20110905.html>

太陽熱利用の現状・経済性と技術開発の動向
<http://www.tic-co.com/seminar/20110907.html>

■ 9月30日(金)-----

ステンレス鋼の溶接技術の実際
～溶接方法の選択およびステンレス用溶接材料の選定から、
溶接技術のポイントならびに溶接欠陥とその補修・防止対策
まで～

<http://www.tic-co.com/seminar/20110904.html>

太陽光発電における蓄電／システム技術と最近の動向
～PV+LIBなどESS(Energy Storage System)について～
<http://www.tic-co.com/seminar/20110908.html>

各月毎のご案内を、下記URLにご用意致しておりますので是非一度
ご覧頂けましたら幸いに存じます。

- 2011年 9月開催セミナー
<http://www.tic-co.com/seminar/seminar-09.html>
- 2011年10月開催セミナー
<http://www.tic-co.com/seminar/seminar-10.html>

※開催決定・開催終了分より、随時追加・削除されていきますので、
最新の情報は上記URLをご参照下さいませ。

- _____ ■ □
おすすめセミナーPick Up
- _____ ■ □

今回のPick Upセミナーは

『太陽光発電における蓄電／システム技術と最近の動向』
～PV+LIBなどESS(Energy Storage System)について～

です

- 講師 Vic's 代表
(元)NECTーキン(株)
執行役員常務・営業本部長
東京大学先端科学技術研究センター
GENNAI メンバー 関 勝男 氏

<講師紹介>

日本電気(株)及びNECTーキン(株)で、電池事業に永年
携わり、日本電気(株)電池事業推進本部長、
NEC Moli Energy(Canada)社長、
NECTーキン(株)執行役員常務・営業本部長などを歴任、
2008年7月より技術コンサルティング会社「Vic's」主宰。
2009年4月より東京大学先端科学技術研究センターの
シンクタンクGENNAIのメンバー。現在に至る。

- 講師 (株)GSユアサ
産業電池電源事業部
事業企画本部 SE部 北川 朗 氏
- 講師 (株)エジソンパワー
代表取締役社長 山田敏雅 氏

●日 時 2011年9月30日(金) 10:00~16:20

●会 場 東京・新お茶の水・総評会館・4F会議室

●受講料 49,980円(1名につき)
(同時複数人数お申込みの場合1名につき44,730円)
※テキスト代、昼食代、お茶代、消費税を含む

再生可能エネルギーの全量買取制度、電力不足への懸念など様々な面から、太陽光発電+蓄電が注目されている！！

本セミナーでは、太陽光発電と蓄電システムの現状から、PV用リチウムイオン電池電力貯蔵システムの安全性・寿命・コスト及びシステム化・運用のポイントなどを含めた技術開発動向と、太陽光発電+蓄電システム技術(蓄電池併設型太陽光発電システムと蓄電技術、太陽光発電向けリチウムポリマー電池など蓄電システム)について、事例を交え斯界の第一線で活躍中の講師陣に詳しく解説頂きます。

●セミナープログラム

I. 太陽光発電用リチウムイオン電池電力貯蔵システムの技術開発動向と展望 (10:00-12:30)

1. 太陽光発電と蓄電システムの現状
 - (1)太陽光発電+蓄電システム
 - ①蓄電池採用型と系統連系型の比較(効率、発電量、価格)
 - ②蓄電システムを必要とする理由
 - ③太陽光発電+蓄電システムの実施例
(無電化地域でのシステム、防災型システム、
夜間照明システム)
 - (2)太陽光発電用各種蓄電システム
 - ①各種蓄電池の性能比較
 - ②ニッケル水素電池の性能と実施例
 - ③NAS電池の性能と実施例
 - ④その他の蓄電システム
2. 太陽光発電用リチウムイオン電池電力貯蔵システムの現状と技術開発動向
 - (1)主要各社の動向と市場
 - (2)PV用リチウムイオン電池電力貯蔵システムの特徴
 - (3)PV用リチウムイオン電池電力貯蔵システムの実証実験・研究開発の動向
 - (4)PV用リチウムイオン電池電力貯蔵システムの安全性・耐環境性・寿命
 - (5)PV用リチウムイオン電池電力貯蔵システムのコスト
3. 太陽光発電用リチウムイオン電池電力貯蔵システム適用・運用のポイント
 - (1)セル設計(電気的特性、充放電特性)のポイント
 - (2)モジュール化・システム化のポイント
 - (3)用途・目的に合ったリチウムイオン電池電力貯蔵システムの選定
 - (4)太陽光発電とリチウムイオン電池電力貯蔵システム組合せのポイント
 - (5)システム運用の留意点
～経済的運用のポイント、トラブル防止～
4. 今後の課題と展望
5. 質疑応答

(関氏)

Ⅱ. 蓄電池併設型太陽光発電システムと蓄電技術
～GSユアサのPV+蓄電システム～
(13:30-15:00)

1. 蓄電池併設型太陽光発電システムの構成
 - (1)システム構成図
 - (2)受電電力検出ユニット
 - (3)蓄電池監視ユニット
2. 機器構成と特徴
 - (1)パワーコンディショナ
 - (2)蓄電池
 - (3)設置形態
3. 運転モード
 - (1)太陽光発電運転
 - (2)蓄電池放電
 - (3)充電
 - (4)災害時自立運転
4. 運転特性
5. その他の蓄電池併設型太陽光発電システム
～独立型システム、ピークカットシステム、停電対応型SS用システム、集中連系対応型システム～
6. 蓄電技術について ～鉛蓄電池とリチウムイオン電池～
7. 実用事例
8. 質疑応答

(北川 氏)

Ⅲ. 太陽光発電向けリチウムポリマー電池など蓄電システム
(15:10-16:20)

※講演項目は決定次第ご案内させていただきます。
(山田 氏)

— 名刺交換会 —

セミナー終了後、ご希望の方はお残り頂き、講師と参加者間での名刺交換会を実施させていただきます。

お申し込み・お問い合わせ等は下記URLにてお願い致します。

<http://www.tic-co.com/seminar/20110908.html>

□ ■ _____ ■ □
新規取り扱い書籍情報(14タイトル)
□ ■ _____ ■ □

新たにお取り扱い致します書籍を、分野別にご案内致します。
詳細につきましては、各書籍タイトルの下にございますURLにて
ご案内致しております。

-----《 エネルギー 》-----

工場の低温排熱発電と排熱利用技術
<http://www.tic-co.com/books/11sta068.html>

太陽電池の耐久性向上と材料評価
<http://www.tic-co.com/books/2011t723.html>

-----《 環境 》-----

水浄化技術の最新動向

<http://www.tic-co.com/books/2011t803.html>

-----《 新材料・新素材 》-----

ナノカーボンの応用と実用化

<http://www.tic-co.com/books/2011t798.html>

マクロおよびナノポーラス金属の開発最前

<http://www.tic-co.com/books/2011t793.html>

-----《 ファインケミカル 》-----

ヨウ素の化学と最新応用技術

<http://www.tic-co.com/books/2011t810.html>

-----《 エレクトロニクス材料 》-----

ナノ構造光学素子開発の最前線

<http://www.tic-co.com/books/2011t808.html>

投影型静電容量式タッチパネルの開発と市場

<http://www.tic-co.com/books/2011s770.html>

白色有機EL照明技術

<http://www.tic-co.com/books/2011t796.html>

-----《 情報システム材料・技術 》-----

計測・モニタリング技術

<http://www.tic-co.com/books/2011t801.html>

-----《 食品関連 》-----

食品の界面制御技術と応用

<http://www.tic-co.com/books/2011t799.html>

-----《 医薬品・先端医療関係 》-----

次世代経皮吸収型製剤の開発と応用

<http://www.tic-co.com/books/2011t794.html>

グローバル治験と国内治験の徹底比較と海外当局査察

<http://www.tic-co.com/books/11stp060.html>

-----《 ニューバイオテクノロジー 》-----

海藻バイオ燃料

<http://www.tic-co.com/books/2011t811.html>

□ ■ _____ ■ □
セミナー及び書籍・調査資料Webサイトアクセス数Top10
□ ■ _____ ■ □

2011年 7月 1日から 7月31日までの1ヶ月間のセミナー及び書籍のWebページアクセス数Top10を挙げてみました。

..... ★ セミナー Top10 ★

- 第1位『藻類の品種選定・改良と培養技術』
～探索・収集・分離・増殖・保存から大量培養・濃縮・乾燥・抽出まで～
(7月15日(金)開催) 549 counts
<http://www.tic-co.com/seminar/20110706.html>
- 第2位『太陽熱発電の最新動向』
～集光型太陽熱発電(CSP)の方式と特徴及びコスト、要素技術と開発状況、太陽熱複合発電、プラント計画・設計、補助・支援制度、最新動向について～
(8月4日(木)開催) 515 counts
<http://www.tic-co.com/seminar/20110802.html>
- 第3位『小水力発電(マイクロ水力など)の
経済性・導入実務と最新技術及び適用事例』
～新エネルギーとしての小水力発電(1000kW以下)の
具体策～
(8月11日(木)開催) 508 counts
<http://www.tic-co.com/seminar/20110810.html>
- 第4位『バイオマス発電システムの計画・設計の進め方』
～目的・条件に合わせた発電プロセスの選択と
経済性を考慮したシステム設計のポイント～
(8月5日(金)開催) 492 counts
<http://www.tic-co.com/seminar/20110804.html>
- 第5位『圧縮機(コンプレッサ)のエンジニアリングと省エネ、
信頼性向上技術』
(8月2日(火)開催) 441 counts
<http://www.tic-co.com/seminar/20110803.html>
- 第6位『地中熱ヒートポンプシステムの最新状況と開発動向、
計画・設計・導入事例・コスト評価、補助金など推進施策』
～再生可能エネルギーとしての地中熱利用のポイントと
実システムの導入について～
(7月12日(火)開催) 432 counts
<http://www.tic-co.com/seminar/20110705.html>
- 第7位 ～「実機による演習」を豊富に交えた～
『現場で役立つ電気の基礎知識』
～専門外の方のための～
(10月11日(火)開催) 420 counts
<http://www.tic-co.com/seminar/20111001.html>
- 第8位 ～トラブルを未然に防止する～

『配管設計の基礎と押さえておきたい留意事項』
(8月3日(水)開催) 419 counts
<http://www.tic-co.com/seminar/20110801.html>

第9位 ～薬用植物・機能性成分・医療用原材料など～
『植物工場による高付加価値植物質生産の最新状況と
技術開発動向』
(8月5日(金)開催) 349 counts
<http://www.tic-co.com/seminar/20110809.html>

第10位『太陽光発電用パワーコンディショナの技術開発動向と
運転安定化技術』
(8月2日(火)開催) 347 counts
<http://www.tic-co.com/seminar/20110806.html>

今回は第1位に『藻類の品種選定・改良と培養技術』がランクイン。

藻類を利用したビジネスの現状から、事業成功のポイント、藻類の
特性及び目的に合った品種選定と探索・収集・取り扱い方、ならび
に育種(機能強化)のポイント、又、藻類利用における装置(培養、
濃縮、乾燥、抽出)の開発動向と大量培養・濃縮・乾燥・抽出の
ポイントに至るまで、藻類を産業利用するための知識が網羅されて
いたのが皆様の関心を集めたようです。

..... ☆ 書籍及び調査資料 Top10 ☆

第1位『界面ハンドブック』 788 counts
<http://www.tic-co.com/books/02nts040.htm>

第2位『2011年スマートフォンの部品・構成材料の市場』
138 counts
<http://www.tic-co.com/books/2011z196.html>

第3位『ぬれの科学と技術そして応用』 125 counts
<http://www.tic-co.com/books/2011t787.html>

第4位『高分子材料のフラクトグラフィ』 122 counts
<http://www.tic-co.com/books/11sta069.html>

第5位『最新フォトリソポリマー材料と応用技術』
121 counts
<http://www.tic-co.com/books/2011t790.html>

第6位『人体通信の最新動向と応用展開』 114 counts
<http://www.tic-co.com/books/2011t795.html>

第7位『自動車用プラスチック部品のメーカー分析と需要予測』
112 counts
<http://www.tic-co.com/books/2011p326.html>

第8位『立体映像技術』 111 counts
<http://www.tic-co.com/books/2008t634.htm>

第9位『電気自動車と電池開発の展望』 104 counts
<http://www.tic-co.com/books/2011t785.html>

第10位『3極要求を反映したGMP-SOP全集』 102 counts
<http://www.tic-co.com/books/11stp059.html>

第2位に『2011年スマートフォンの部品・構成材料の市場』が
ランクイン。

世界の携帯電話機市場は、年間10数億台の巨大市場に成長しています。
電子機器の中で10億単位の需給規模にあるものはまず見あたりません。
まして、その市場が現在も毎年5000万台～1億台も増加するという
驚異的なマーケットです。

本書は、急拡大するスマートフォン・携帯電話のデジタル部品・
構成材料のマーケット70品目に焦点をあてて、その市場動向、材料
動向、開発動向、企業動向をまとめたレポートであることが、多く
のアクセスを生んでいるのでしょう。

この集計データが、皆様の業務に少しでもお役に立てば幸いです。

■ _____ ■

E-mail変更・不要について

■ _____ ■

E-mailアドレスが変更になった場合は、件名に『アドレス変更』
とご記入頂き、本文には、
★ 旧E-mailアドレス
★ 新E-mailアドレス
をお書き添え頂きました上、このメールにご返信下さいますよう
お願い申し上げます。

今後このご案内メールが不要でございましたら、件名に『不要』
とご記入頂き、本文には、
★ E-mailアドレス
をお書き添え頂きました上、このメールにご返信下さいますよう
お願い申し上げます。
※下記URLでも承っております。
<http://www.tic-co.com/merumaga.html>

※このメールの返信にてお問い合わせをされますと、処理の都合
上、ご回答までに一週間以上頂く場合がございます。
お問い合わせは info@tic-co.com までお願い致します。

■ _____ ■

あとがき

■ _____ ■

『撫子(なでしこ)』

今年はやなでしこジャパンのW杯金メダル獲得で、「なでしこ」の
話題はもう食傷気味だとのこと多いかと思いますが、植物の
「なでしこ」に関する豆知識を中心にお届け致します。

撫子の美しい画像をご覧になりたい方はこちらまで

(スライドショーがおすすめです。)
<http://iyashi.midb.jp/plant/6>

◎撫子(なでしこ)の語源

ナデシコは花が小さく色も愛すべき色から、赤ちゃんを撫でて可愛がる「撫でし子」が有力とされています。

万葉集の時代から日本人に親しまれ、

「野辺(のへ)見れば 撫子の花 咲きにけり

わが待つ秋は 近づくらしも」

作者不詳

と詠まれたり、清少納言も枕草子で

「草の花は、なでしこ。

唐のはさらなり、大和のもいとめでたし」

と讃えています。

◎常夏

「ナデシコ」は古くは常夏(とこなつ)ともいわれました。

これは「ナデシコ」の花期が初夏から秋に渡ることになんています。

「源氏物語」五十四帖の中の一つの巻名が「常夏」です。

光源氏が

「なでしこの とこなつかしき 色を見ば

もとの垣根を 人や尋ねん」

「とこなつかしき」に撫子(なでしこ)の異名である「とこなつ(常夏)」を詠み込んでいます。

関連する美しい画像をご覧になりたい方はこちらまで
<http://www5d.biglobe.ne.jp/~purple/h1/st02/tokonatu/tokonatu.htm>

◎ピンク

○英語の pink の語源は「ナデシコ」の意味だそうです。

pink＝撫子色なのです。

シェークスピアの時代には、まだ色名としての用法はなかったとされており、万葉集の時代から撫子色を詠っている我々の先祖の色彩感覚に誇りを持ちますね。

また、「ナデシコ」の花弁の「ギザギザ」の形から

【pinking】: 特殊な歯の鋏(はさみ)で布や紙などの端をギザギザの山形に切ること

からきているとの説もあります。

○なでしこジャパンのユニフォームの首もとと肩にピンクが入っていましたが、もう少しピンクを強調してもいいかと思います。

チーム名もW杯優勝ですから、男子は「サムライブルー」女子は「なでしこピンク」にしてみてもいいかな。

それとも、サッカーは同じ国の男女はユニフォームのカラーを統一しないとだめなのかな？

◎「アメリカナデシコ」対「やまとなでしこ」

アメリカナデシコは別名ビジョナデシコと呼ばれます。
草丈は60cmから1mで、花の色は白・ピンク・赤・赤紫などです。

やまとなでしこは別名カワラナデシコ。
草丈は30～50cm。花の色は、淡紅色が一般的ですが白色もあります。

まるで今回のW杯の決勝戦のようです。

アメリカナデシコは大きく、ユニフォームは白。

なでしこジャパンは小さく、ユニフォームにはピンク入り。

◎神の花

日本でよく見られるのは「河原撫子(カワラナデシコ)」です。

画像をご覧になるにはこちらから
<http://siliconman28.cocolog-nifty.com/blog/2011/07/post-5aeb.html>

その学名は

Dianthus superbus L. var. *longicalycinus*

Dianthus はナデシコ属の総称ですが

「Dios(ギリシャ神話の神)」+「anthos(花)」が語源とのこと。

The name *Dianthus* is from the Greek words *dios* ("god") and *anthos* ("flower"), and was cited by the Greek botanist Theophrastus.

Wikipedia(English)

「ギリシャの植物学者テオプラストスによって、*Dianthus*という名前は、ギリシャ語 *dios*(神)と *anthos*(花)に由来するとされている」

また superbus は気高い、堂々としたとの意味です。

W杯アメリカ戦の澤の同点シュートはまさに「神業」。神の花ですから奇跡と思えるシュートも決められたのかも。

◎なでしこジャパン ロンドンオリンピックアジア最終予選TV
放送予定

植物の「なでしこ」の知識中心にお届けしたいのですが、やはり気になるのはロンドンオリンピックの予選です。

特にTV中継はあるのか、生か？録画か？時間は？気になっておられる方も多いと思います。TV放送予定は以下の通りです。

アジア最終予選は、計6チームが総当たり戦を中国の済南で行い、上位2チームが本大会出場権を得ます。

TV放送予定ですが、第1戦から第4戦までは、地上波のNHK総合で生中継され、NHK BS1で録画放送されます。

NHKニュース7と重なる第5戦中国戦のみ、NHK BS1で生中継され、NHK総合で録画放送されます。

【第1戦 vs タイ女子代表】

NHK総合
9月1日(木) 16:05～生中継
NHK-BS1
9月2日(金) 1:00～録画放送

【第2戦 vs 韓国女子代表】

NHK総合
9月3日(土) 19:30～生中継
NHK-BS1
9月4日(日) 1:00～録画放送

【第3戦 vs オーストラリア女子代表】

NHK総合
9月5日(月) 16:05～生中継
NHK-BS1
9月5日(月) 20:00～録画放送

【第4戦 vs 北朝鮮女子代表】

NHK総合
9月8日(木) 16:05～生中継
NHK-BS1
9月8日(木) 20:00～録画放送

【第5戦 vs 中国女子代表】

NHK-BS1
9月11日(日) 19:00～生中継
NHK総合

9月12日(月) 0:35～録画

9月もサマータイム勤務の方は早く帰宅して、ゆっくりとなでしこ
ジャパンの活躍をライブで観戦できますね。

早起きは三文の得です。

あとがき全体を通しての出典:フリー百科事典
『ウィキペディア (Wikipedia)』

独逸夏

美女撫子を

打ち負かし

やんや喝采

大和撫子

竺児

最後までお読みいただきありがとうございました。

(株)技術情報センター メルマガ担当 白井芳雄

本メールマガジンのご感想や本メールマガジンへのご意見・ご要望
等 melmaga@tic-co.com まで、どしどしお寄せ下さいませ。

////////////////////////////////////

『 - その先の、深い情報へ。 - 』

(株)技術情報センター

〒530-0038 大阪市北区紅梅町2番18号 南森町共同ビル3F

[TEL] 0120-06-0140 / 06-6358-0141

[FAX] 06-6358-0134

[URL] <http://www.tic-co.com/>

[E-mail] info@tic-co.com